

平成 25 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大脇 功嗣
(JASDAQ・コード7519)
問 合 せ 先
役職・氏名 管理部長 大橋 肇
電 話 0568-76-1050

(経過報告) 環境事業の進捗状況に関するお知らせ

環境事業の進捗状況、第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下「新株予約権付社債」という。）および第1回新株予約権（以下「新株予約権」という。）で調達した資金使途の状況につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 環境事業の進捗状況

①リモデリング（リフォーム）事業

平成 24 年 8 月より本格的に事業を開始しましたリモデリング（リフォーム）事業は、現在、提携業者（1 社）の選定が終わり、建築許可に係わる免許を取得し、新築物件におけるクロス工事、太陽光パネル設置工事、大工工事、基礎工事を実施しており、毎月徐々に工事受注が増加しております。

②エコカーテンの販売

自然な太陽の光を取り入れ、遮熱、保温、紫外線カット、制菌等の機能を合わせ持つことで健康・安全面に特に配慮した採光エコカーテン「エコフィックス」は、平成 24 年 10 月から全国主要拠点で本格発売を開始し、販売先として既存カーテンの販路以外に、介護施設、病院、学校、企業、店舗等を中心に営業活動を実施しております。

③その他環境商材等の販売

窓ガラスに遮熱・紫外線カット機能を付加するコーティング施工、高い撥水・撥油性能を有し防汚効果のあるコーティング施工等の省エネ、エコロジー及び健康効果のある環境商材等を、上記の「エコフィックス」及び既存事業のカーテン商品とともに、新規販路先であります企業等に販売しております。

環境事業におきましては、上記事業を維持しつつ来期以降におきましては、CIGS（銅、インジウム、ガリウム、セレンの化合物系）型太陽電池を使用したBIPV（屋根、窓、外壁の建材一体型太陽電池）製品の取り扱いを始める予定にしております。

CIGSは、ガラス上にコーティングするもので、エネルギー変換効率が高く、また、BIPV製品であるため屋根、窓、外壁としての直接利用が可能です。特に、シースルータイプの製品は、透過性があることから、発電とともに採光が可能であり、デザイン性にもすぐれていることから、建築物のガラス窓としての利用には非常にふさわしい製品と考えております。

また、環境事業は現在 6 名で事業を展開しており、環境事業全体の実績として平成 25 年 2 月末日までの売上高は 49 百万円となっております。

2. 新株予約権付社債および新株予約権の資金使途の状況

新株予約権付社債および新株予約権の払い込みにつきまして、新株予約権付社債が平成 24 年 6 月 29 日に 100 百万円、新株予約権が発行分として平成 24 年 6 月 29 日に 1 百万円、行使分として平成 25 年 2 月末日現在で 28 百万円（50 個中 7 個行使）の払い込みが完了しており、払い込み金額の合計は 129 百万円となっております。

調達した資金のうち、発行諸費用（弁護士費用、信用調査費用、評価費用、ファイナンシャル・アドバイザー費用、登記費用等）に関しましては、平成 25 年 2 月末日現在の合計は 15 百万円であります。

既存事業でありますカーテン事業における資金使途は、インハウス見本帳全面改訂に係わる費用で合計は 53 百万円であります。

環境事業における資金使途として、リモデリング（リフォーム）事業は、建設許可に係わる免許取得費用、固定資産費用、工具費用、仕入費用、その他事業運営費用等で、平成 25 年 2 月末日現在の合計は 20 百万円、エコカーテン「エコフィックス」およびその他商材販売に係わる費用として、商品開発費用、販売促進費用、仕入費用、その他事業運営費用等で、平成 25 年 2 月末日現在の合計は 36 百万円であります。残額の 5 百万円につきましては、来期以降の環境商材に係わる費用にあてる予定であります。

3. 今後の見通し

当該環境事業が、今後の業績に与える影響につきましては、詳細が判明次第公表するとともに、事業の進捗等につきましても、決算短信等で報告いたします。

以 上